

特別講義： 「障害児（者）の理解とかかわり方」

講師：びわこ学園医療福祉センター草津

施設長 口分田 政夫 先生

日時：2019年4月17日（水）

目標：1) 施設の概要を知る 2) 重症心身障害児（者）と看護の役割を知る

- ・重症心身障害の方との人間関係は、人と人との間柄によって生まれてくる
 - ・自己と他者との協働の関係で生きることを創りだす。（鏡に映し合う）
 - ・この子は家族の中心
 - ・出会いの中でつながる
 - ・共感の世界（糸賀）
- ・生きることはかわいそうか？いや・・・

・障がいはあるが一生懸命生きている。学校に行き、充実した生活をしている。

・個別の「いのち」は、出会い祝福されることにより、つながっていく。

学生の学び

- ・（重症心身障がい児が）どんな生き方をされ、どんな人々に囲まれているのかイメージして感じるこ
とができた。
- ・看護として大切なことは、意思表示をどのように捉え、読み取っているのかが大切であるということ
学びました。
- ・対象の可能性を信じて支えていける存在になりたいと思った。
- ・今回の講義での学びを生かし、実習など積極的に取り組めるようにしていきたいです。

障害がある、なしではなく、“わからない”“かわいそう”から
一歩踏み込んで、接してみてください。

